学校番号	１０１５

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	2　東書　家総 301　「家庭総合　自主・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等	準拠している学習ノート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題について学び考え、理解を深め知識を身に付けます。
友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と食生活、住生活、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、生活自立に向きえて実践的な態度を身に付けている。	人の一生と食生活、住生活、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と食生活、住生活、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と食生活、住生活、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

評価方法	・学習状況の観察 ・ワークシートの記述 ・学習ノート ・小テスト	・学習状況の観察 ・ワークシートの記述 ・学習ノート ・小テスト	・学習状況の観察 ・実習レポート、	・定期考査 ・ワークシートの記述 ・学習ノート ・小テスト
上に示す観点に基づいて、考査ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期前半	経済生活を営む・生活を設計する	○家庭科の学び方 ○経済生活を営む ・職業生活を設計する ・現代の消費社会 契約とは 契約トラブルと消費者保護 クーリングオフ 様々な消費者保護制度 商品の販売方法 多様化する支払い方法 クレジットカードのしくみ キャッシュレス社会のメリット・デメリット 消費者信用 悪徳商法シナリオ	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 学習ノート 発表 小テスト
前期後半		・消費者の権利と責任 これからの消費生活と環境 ○成熟した社会とは(共生経済について考える) ・持続可能な社会をめざしたライフスタイル 食生活　夏休みの課題 ～食生活を見直そう～	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:消費者の果たすべき責任と権利および消費生活と環境について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 消費者の果たすべき責任と権利について自らどう行動したらよいか考えている。また、環境に配慮した生活上の工夫に取り組もうとしている。 c:持続可能な社会をめざしたライフスタイルを身に付けている。 d:持続可能な社会を築くために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 学習ノート 発表 小テスト レポート 発表 自己評価 相互評価

	住生活をつくる	○住生活について考える ・住居のおもな機能 ・暮らしの住空間 ・平面図を読む ・ひとり暮らしの住まい探し 住宅広告を読む	○	○	○	○	a：住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d：住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 学習ノート 実習レポート 小テスト
後期前半	食生活をつくる	食生活をつくる ○食生活の変化 ・食生活について考える 食事の意義 生体リズムと食事 不規則な食事 朝食の欠食 栄養バランスの偏り 肥満とは BMI 痩せ 正しいダイエット ○食事と栄養・食品 栄養素とそのはたらき	○ ○	○ ○		○ ○	a：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え適切に判断し表現している。 c：生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d：栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 学習ノート 小テスト
後期後半		○食事と栄養・食品 ○食生活の安全と衛生 ○栄養バランスのよい食事 ○調理の基礎 ＊調理実習	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○		

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。